

平成 29 年 度 第 1 回

那 須 烏 山 市 総 合 教 育 会 議 会 議 録

平成30年1月19日(金)

午後2時25分～



発 言 者	審 議 の 経 過 及 び 結 果
1. 開会	岩附学校教育課長が開会を宣した。
2. あいさつ	川俣市長、田代教育長がそれぞれ挨拶した。
3. 自己紹介	委員、事務局の順にそれぞれ自己紹介を行った。
4. 議事	川俣市長が議事を進行した。
1) 那須烏山市教育大綱(案)について	
川俣市長	1)「那須烏山市教育大綱(案)について」を議題とする旨を告げ、事務局
	に説明を求めた。
岩附学校教育課長	那須烏山市教育大綱(案)について説明をした。
川俣市長	質疑がないかと会議に諮った。
田代教育長	教育委員について、前回教育大綱を確認した総合教育会議のメンバーと、
	今回のメンバーは変わっていないため、特に異議は無いと思う旨を述べた。
川俣市長	他に質疑がないかと会議に諮り、質疑がないので、1)「那須烏山市教育
	大綱(案)について」は、事務局説明のとおり決定することとしてよいか会
	議に諮った。
	(全員異議なし)
川俣市長	全員異議なしと認め、引き続き「那須烏山市教育振興ビジョンⅡ期計画」を
	「那須烏山市教育大綱」として位置付けることとする旨を告げた。
2) 意見交換	
川俣市長	続いて、2)意見交換として、委員の皆さんから何か意見・質問があるか確
	認する旨を告げ、特に無ければ、平成30年度教育委員会当初予算につい
	て意見交換することとしてよいか会議に諮った。
	(全員異議なし)
川俣市長	全員異議なしと認め、事務局より平成30年度当初予算の説明を求めた。
岩附学校教育課長	学校教育課当初予算の概要について説明した。
柳田生涯学習課長	生涯学習課当初予算の概要について説明した。
糸井文化振興課長	文化振興課当初予算の概要について説明した。

発 言 者	審 議 の 経 過 及 び 結 果
川俣市長	意見交換に入る旨を宣した。
澤村委員	本市では文武両道推進事業を推進しており、文の方、学力ではサタースクール、スーパーティーチャー育成事業等を実施しているが、武の方、運動面についてはもう一つ取り組みが薄いように感じる。先日の箱根駅伝には本市出身の石川君が出場、活躍している。中学校の先生方にも優秀な指導者やノウハウを持っている人もいると思われるので、ぜひ本市に赴任してもらい部活動指導に力を入れるなどしてはどうか質した。
田代教育長	各学校の教員の定数は決まっており、部活動の指導者となると市費で別に雇用することとなる。矢板市の泉小中一貫校では1名市費で雇用しているが、4～500万円かかっているようである。中高一貫教育として高校生に指導を受けるということも一案であると思う。また、現在本市においては、部活動において特別に力を入れている種目がない状況である。数年前那珂川町ではアーチェリー、陸上、サッカー、野球等指導事業を実施してはいるが、結果が出てきていない。地元の団体から指導者をお願いしている場合が多く、子供のころから付き合いがある。中学校の部活動は競技種目が多いため、講習会等の実施等について検討したい旨を回答した。
澤村委員	本市の2中学校に陸上部はあるか質した。
田代教育長	陸上部は無いが、駅伝大会出場のために特設される旨を回答した。
川俣市長	駅伝の際には、総合政策課の小堀君が、烏山中学校にランニングの指導に行っている旨を述べた。
澤村委員	本市の子ども達は体力テストの結果が低いと聞いている。指導者によって結果が変わるか質した。
阿久津委員	体力テストに係る指導をすることによって、結果はかなり変わると思う。現在の学校での体力テストは、「とりあえず実施すれば良い」との感じを受ける。やり方等しっかり指導すれば結果は違ってくると思う旨を述べた。
田代教育長	休み時間などを利用し、指導するよう校長会等で話をしたい旨を述べた。

発 言 者	審 議 の 経 過 及 び 結 果
阿久津委員	<p>烏山小学校では、問題がある子がいるため、休み時間中は外に出さないようにしていると聞いている。問題のある子については、市費の先生を付けてくれてはいるが、学校の統廃合により子ども達の人数の不均衡があると感じる。先生の指導力にもよると思うが、1クラス当たりの人数が多く、問題のある子が多数いると指導しきれない。学校の統合も合理的にできれば良いと思う。現在は、スクールバス通学により境小学校と烏山小学校も遠くはない。障がいのある子を1カ所に集めるなどはできないのか。人数が多いと声の大きい子に引っ張られてしまう。学校の統合等については、効率的、合理的、全体的に考える必要があると思う旨を述べた。</p>
田代教育長	<p>学校の不均衡については、今後市内全体を考慮して検討していきたい旨を述べた。</p>
網野委員	<p>教員の多忙について問題となっているが、自分が教員の頃はあまり気にしていなかった。現在は、かなりの時間外勤務をしているようだが、事務を処理してくれる職員を1人雇用してもらえれば、教員が時間外に処理している事務が少しでも解消できると思うがどうか質した。</p>
岩附学校教育課長	<p>教員の事務量はかなり多い。そのため、学校の事務を数校が共同、共有して実施するよう、事務長会議において検討しているところである。現在、学校教育課では事務長経験者を市の嘱託職員として雇用し、各学校の事務手伝いを実施している。また、来年度には教員の事務軽減を図るため、子ども達の成績等を一括管理するための校務支援システムを導入する予定である。更には、現在学校で処理している給食費について、一般会計化にするための調査を実施する予定である旨を説明した。</p>
田代教育長	<p>授業等で利用する印刷物については、市費職員が手伝っているようである。また、さくら市では外部ボランティアが学校に入っても良いように写真が廊下に貼ってある。これは、研究授業等の際にボランティアが学校に入り手伝い等を行うことがあるため、子どもたちに誰かを分からせるようにしている</p>

発 言 者	審 議 の 経 過 及 び 結 果
	ものであり、教員の多忙感を無くすためには、このような手法もある旨を述べた。
岡崎委員	教員の多忙感を減らすため、部活動等の外部指導者の導入をしているところもあるが、部活動を通じて子どもの気持ちが分かることもある。そのため、教員以外でもできる事務をしてもらえれば良いのではないかと思う。
	しかし、各種の事業等について、良さそうなものはすぐに導入するなど飛びつきがちであるが、導入する際には本市の状況等を良く考慮してもらいたい旨を述べた。
川俣市長	皆さんから出された貴重なご意見について、今後市政に反映させていきたいと考えている。今後も様々な場面で意見を出してほしい旨を述べた。
澤村委員	中学生広島平和記念式典派遣事業の担当課が、総務課から学校教育課になったのには何か理由があるのか。また、サタデースクールについて、平成31年度以降はどうなるのか質した。
岩附学校教育課長	中学生広島平和記念式典派遣について、担当課が変わったのには特に理由は無い。対象が中学生のため、主担当である学校教育課にただけである旨を説明した。
川俣市長	サタデースクールについては、児童生徒のバス送迎に係る支出が大きく、費用対効果が見えづらい。また、指導要領の改訂等により土曜日授業の可能性もある。これらの動向を踏まえて、平成30年度に検討するよう担当課に指示したところである旨を述べた。
田代教育長	サタデースクールについては、議会からもその効果について指摘されている。学童保育的に子どもを預けている家庭もある。今年度については、全日程を確実に来られる子どもを対象として募集している。今後、送迎などで保護者負担があれば、意欲のある子だけに絞られてくると思う旨を述べた。
網野委員	サタデースクールの事後アンケートで、8割以上の子ども達が満足していると回答しているので、この結果も含めて検討願いたい旨を述べた。

発 言 者	審 議 の 経 過 及 び 結 果
川俣市長	講師の派遣をお願いしている、宇都宮大学担当学部、事務局等とも調整
	が必要である旨を述べた。
田代教育長	宇都宮大学の学生も、授業の実施など良い経験になっていると思う旨を
	述べた。
澤村委員	宇都宮大学の学生達も、子どもの学力向上のために真摯に対応していた
	だけいていると思う旨を述べた。
川俣市長	他に意見、質問がないかと会議に諮り、意見がないので次の議事に入る
	旨を告げた。
3)その他について	
川俣市長	続いて、3)その他についてを何か意見・質問があるか確認し、意見等が
	無いので本日の議事は全て終了した旨を告げ、進行を事務局に戻す旨を
	告げた。
5. その他	
岩附学校教育課長	その他、委員、事務局から何かあるか確認したが、特に意見等が無いよ
	うなので閉会する旨を告げた。
6. 閉会	岩附学校教育課長が閉会を宣した。
	午後3時25分閉会